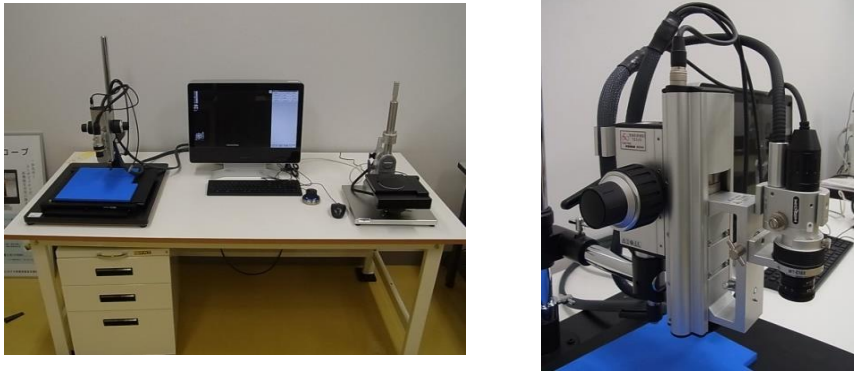
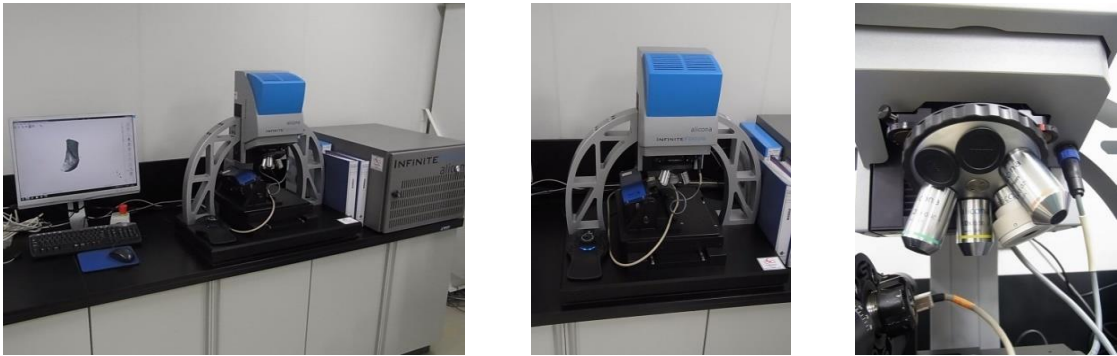


事業者名	地方独立行政法人鳥取県産業技術センター								
機器名	ワイドレンジ観察計測システム マイクロスコープ								
写真									
特徴・用途	<p>マイクロメートルオーダー(千分の1mm)の領域において、高解像観察・精密測定が瞬時に行える機器で、破損原因調査などで必要な任意方向からの観察、測定に適しており、切削加工部品や鍛造・プレス成形部品、樹脂成形部品などのキズなどの拡大観察や、長さなどの測定に用いる。</p>								
設置場所	地方独立行政法人鳥取県産業技術センター 機械素材研究所								
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)
					件数(件)	時間(時間)			
	平成28年2月	13	0	5	2	9	0	6	13
	平成28年3月	18	0	6	3	7	8	1	18
	平成28年4月	8	0	4	1	1	1	2	8
	平成28年5月	14	0	9	0	0	3	2	14
	平成28年6月	11	0	4	0	0	4	3	11
	平成28年7月	15	0	2	6	11	5	2	15
	平成28年8月	17	0	2	10	17	4	1	17
	平成28年9月	18	0	3	12	64	2	1	18
	平成28年10月	14	0	2	8	54	3	1	14
	平成28年11月	9	0	1	6	23	1	1	9
	平成28年12月	12	0	5	5	24	0	2	12
	平成29年1月	12	0	6	3	10	2	1	12
	平成29年2月	15	0	4	10	12	0	1	15
平成29年3月	14	0	3	7	25	3	1	14	
利用者等の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該機器により切削工具の刃物の摩耗状況を鮮明に観察できるようになり、品質管理や研究開発に用いるデータの信頼性が向上した(切削加工企業)。</li> <li>・当該機器により、広い範囲の鍛流線を短時間で取得できるようになり、研究開発に有用なデータを取得できた(プレス加工企業)。</li> <li>・樹脂成形部品の試作において客先から全数検査を要求されたが、当該機器を用いることにより短時間で計測することができた(樹脂成形企業)。</li> <li>・当該機器の透過照明機能を用いてエマルジョン油の粒子分布状況の観察と粒径測定を行うことができた(機械装置製造企業)。</li> </ul>								
補助事業概要 の広報資料	<a href="http://hojo.keirin-autorace.or.jp/shinsei/document/list/kikai/h27/pdf/27-056koho.pdf">http://hojo.keirin-autorace.or.jp/shinsei/document/list/kikai/h27/pdf/27-056koho.pdf</a>								

事業者名	地方独立行政法人鳥取県産業技術センター								
機器名	ワイドレンジ観察計測システム マクロスコープ								
写真									
特徴・用途	ミリメートルオーダー(倍率10倍程度)の領域を迅速で高い解像度での観察や高精度な測定を行う機器で、切削加工部品や鍛造・プレス成形部品、樹脂成形部品などのキズなどの拡大観察や、長さなどの測定に用いる。								
設置場所	地方独立行政法人鳥取県産業技術センター 機械素材研究所								
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)
					件数(件)	時間(時間)			
	平成28年2月	13	0	3	4	24	0	6	13
	平成28年3月	19	1	4	7	41	0	7	19
	平成28年4月	14	1	2	1	1	2	8	14
	平成28年5月	8	1	2	3	3	0	2	8
	平成28年6月	12	0	4	2	4	0	6	12
	平成28年7月	9	0	7	0	0	0	2	9
	平成28年8月	8	0	3	2	16	0	3	8
	平成28年9月	7	0	1	5	29	0	1	7
	平成28年10月	8	0	2	5	35	0	1	8
	平成28年11月	15	0	3	7	73	0	5	15
	平成28年12月	11	0	5	5	36	0	1	11
	平成29年1月	7	0	1	5	58	0	1	7
	平成29年2月	9	0	2	5	13	0	2	9
平成29年3月	9	0	3	3	18	0	3	9	
利用者等の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社内の機器では測定できなかった切削加工部品の微小部のR形状や球面形状を、当該機器により精度よく測定することができた(切削加工企業)。</li> <li>・手仕上げされた切削工具の図面化が課題となっていたが、当該機器により切削工具の三次元形状のデータベース化が可能となった(切削工具製造企業)。</li> <li>・樹脂成型部品の微小部の三次元測定において、客先から測定のトレーサビリティを要求され課題となったが、当該機器によりトレーサビリティを確保した高精度な三次元測定を行うことができた(樹脂成型企業)。</li> <li>・部品の微小部の形状をカラーマップとして視覚化できるようになり、自社製品の優位性を顧客に訴えやすくなった(電気部品製造企業)。</li> </ul>								
補助事業概要の広報資料	<a href="http://hojo.keirin-autorace.or.jp/shinsei/document/list/kikai/h27/pdf/27-056koho.pdf">http://hojo.keirin-autorace.or.jp/shinsei/document/list/kikai/h27/pdf/27-056koho.pdf</a>								